

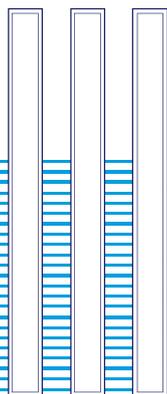
FULL HEIGHT DOOR®

フルハイトドア®

施工手順書

サイドガラスセット

脱着タイプ



施工を担当される方へ

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。付属ビス以外で取り付けした場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。

● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。

● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかをご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。

● 施工後の処理

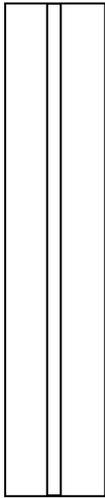
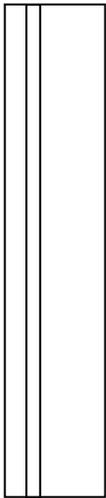
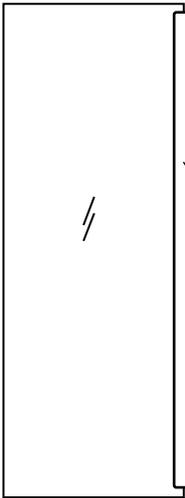
- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。このとき、表面にテープを直接貼らないでください。また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

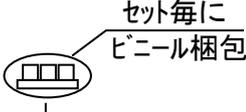
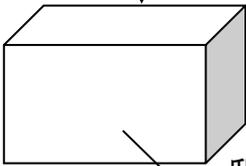
□ サイドガラスセット (脱着タイプ)

施工手順書2025/1初版

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

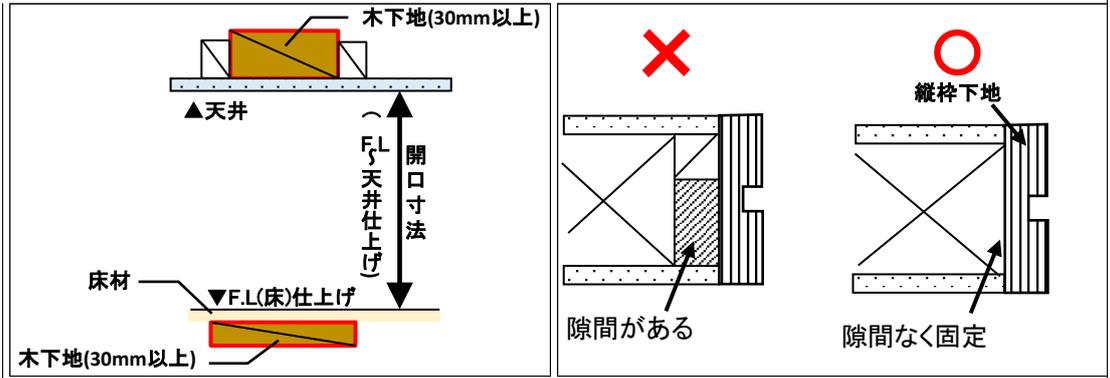
下地枠	部材	数量	備考
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>スイング戸用 縦枠下地</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>アウトセット 片引き戸用 縦枠下地</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ガラス</p>  <p style="font-size: small;">ガラスプロテクター</p> </div> </div>	縦枠下地	1セット	
	ガラス	1枚	
	ガラスプロテクター	1本	
	同梱部材		
コの字バー			
 <p style="text-align: right;">2本</p>			
コの字バー取付ビス			
 <p style="text-align: right;">M3.1 × 32mm スイング戸(片袖): 6本 アウトセット片引き戸: 8本</p>			
0.5mm厚パッキン		セッティングブロック	
 <p style="text-align: right;">幅10mm</p>		<p style="text-align: center;">3mm厚</p>  <p style="text-align: right;">スイング戸(片袖): 6個 アウトセット片引き戸: 8個</p>	

建具金物箱			
部材			
金物箱	10セットに付1箱		
 <p>セット毎に ビニール梱包</p>			
 <p>邸別段ボール箱</p>			
同梱部品			

□ サイドガラスセット (脱着タイプ)

1 下地を入れる

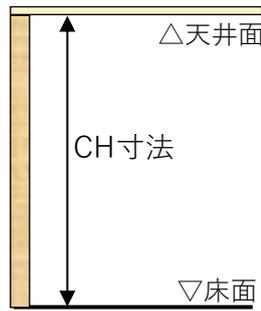
- ① コの字バーを取付ける為の床と天井に木下地を入れる。
縦枠下地を取付ける為の木下地を入れる。
※コ字バー取付ビスの長さが35mmあります



天井と床に木下地を入れる

縦枠下地を取付ける為の木下地を入れる

縦枠を設置する前に、開口部の高さ(図面:FL~天井)を確認する。

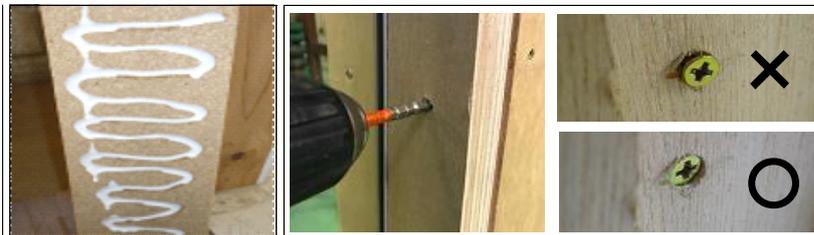


CH寸法の高さ公差
+3mm,-2mm

注意 ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

2 縦枠下地の設置・固定方法

- ① 酢ビ系接着剤併用にて取付ビス(現場手配品)で躯体に固定する。(下穴が開いていませんので、必ず下穴をあけてから取付てください)



下地裏面に接着剤全面塗布

取付ビス(現場手配)で固定

3 幅木・クロス施工

- ① 巾木に接着剤を塗布し、縦枠下端と壁面にまわして取付ける。(接着剤は酢ビ系をお勧めします)

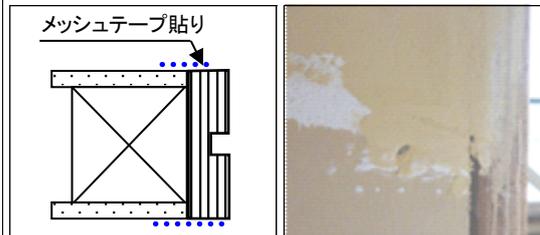


接着剤全面塗布

幅木木口はタッチアップ

縦枠の見切りに突きつける

- ② 石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理をした後でクロスを貼る。(メッシュ+下塗り+上塗りを推奨)
クロスは、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。(ガラス押えの寸法3mm)



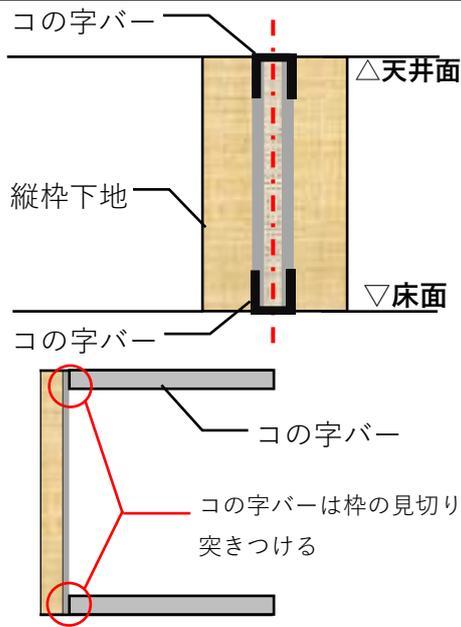
メッシュテープ

ビス部分にもパテ処理

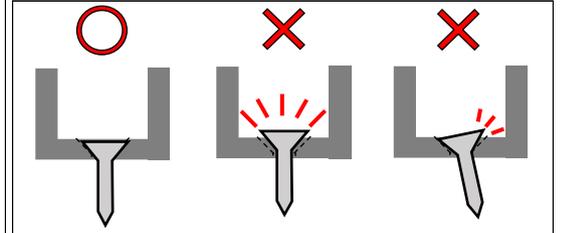
4 コの字バーの取付

- ① レーザー等を使用し、縦枠下地の溝とコの字バーが**一直線になるように**コの字バーを取付ける。
※本図はスイング戸用を示す

※ビスの頭がでないようにしてください。



下穴を空けてから
同梱ビス(M3×35)で固定する。



<注意>
ビス頭が飛び出さないようにする。

5 セッティングブロックの取付

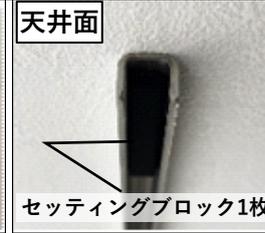
- <標準>
同梱のセッティングブロックを天井面と床面のコの字バーに取付ける。



白い剥離紙を剥がす



取付ビスの上にそれぞれ1枚貼る



天井面
セッティングブロック1枚

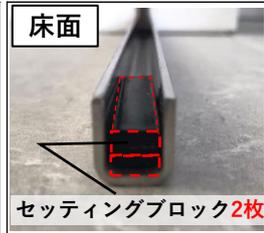


床面
セッティングブロック1枚

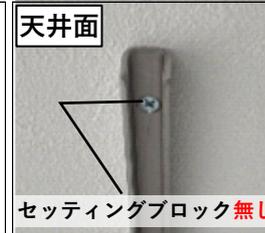
- <CH寸法が大きい場合>
床面コの字バーのセッティングブロックを**重ねる**



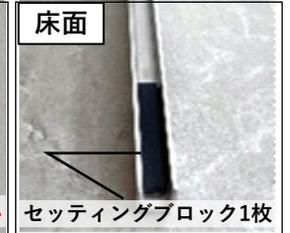
天井面
セッティングブロック1枚



床面
セッティングブロック2枚



天井面
セッティングブロック無し



床面
セッティングブロック1枚

<CH寸法が大きい場合>

床面コの字バーにセッティングブロック重ねる

<CH寸法が小さい場合>

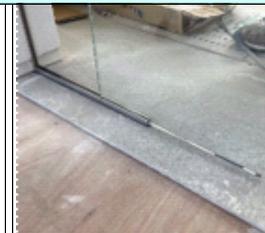
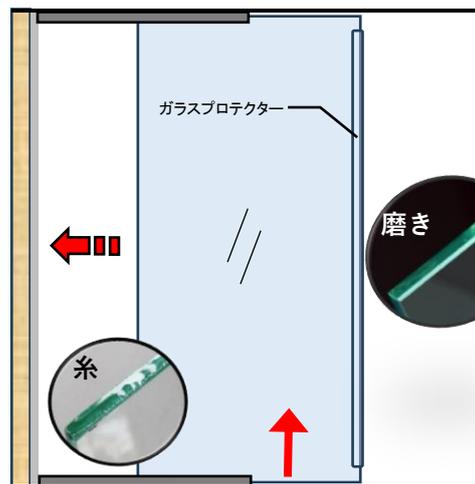
天井面コの字バーにセッティングブロック不要

6 ガラスの取付

- ① 天井面と床面のコの字バーの溝にガラスを挿し込む。

《ポイント》
少しガラスを上げ、平行にしながら挿し込む

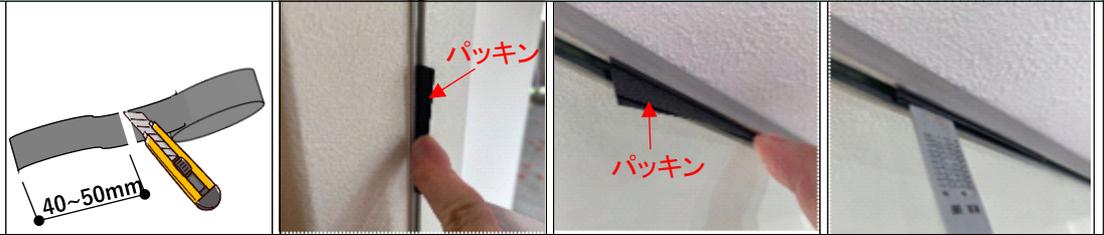
- <推奨>
糸面が縦枠側、磨き面が開口側になる向きでガラスを挿し込む。
磨き側にはプロテクターが付いています。



【注意】
ガラスは最後まで差し込んでください。

7 パッキンの取付

- ① パッキン材を40~50mm程度にカットし重ねて縦枠下地と天井面のコの字バーに挿し込む。
パッキンを入れることにより、ガタツキが軽減されます。



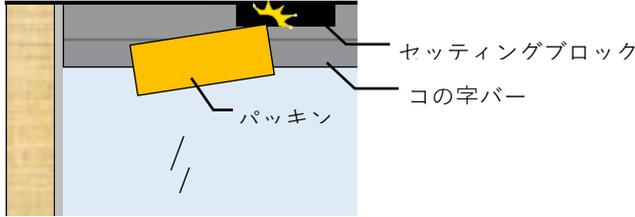
<推奨パッキン厚み>

0.5mm×2枚重ね 計1.0mm厚

40~50mm程度にカット

天井面のコの字バーと縦枠の片面に適度な厚みになるようにパッキンを重ねてコの字バーに挿し込む ※色が濃い面をガラス面になるように挿し込む

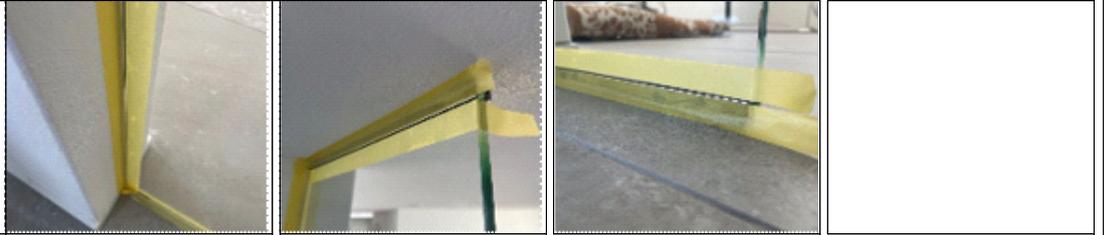
注意



- ・セッティングブロックがある場所はパッキンが奥まで入らないことがあります。
- ・パッキンがはみ出てしまう場合、カッター等でカットしてお使いください。

8 ガラスのコーキング

- ① 表裏両面のガラスと縦枠下地のパッキン・コの字バーにマスキングテープで養生をします。

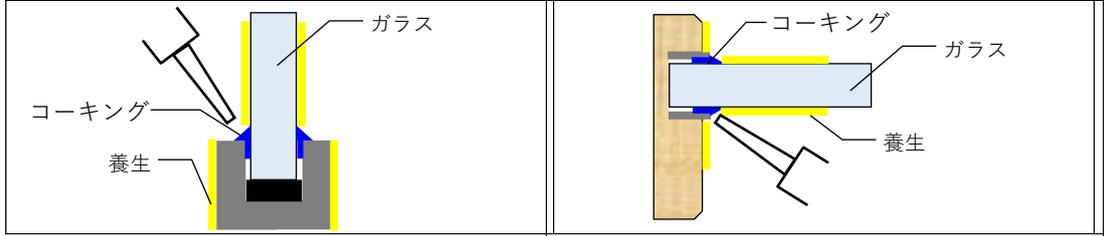


縦枠の養生

天井面コの字バーの養生

床面コの字バーの養生

- ② 表裏の両面にコーキング（現場手配）をする。
コーキング終了後、養生を剥がす。



コの字バー
養生とコーキングイメージ

縦枠下地
養生とコーキングイメージ

注 ガラスプロテクターについて



【ガラスの取注意】

- 工事中はガラスを傷つけないように養生をしてください。
- ガラスプロテクターは、お引渡し後も取付けたまま、お使いいただくことを推奨致します。

ガラスプロテクター

強化ガラスを使用しています。
ガラスエッジの保護材としてガラスプロテクターが同梱されます。
長い場合は、カッター等で切り調整してお使いください。
ガラスプロテクターは取外し可能ですが、お引き渡し後も取付けたままお使いいただくことを推奨致します。